こんぺい新聞

雨ときどき晴

発行 7.No 1
南岡日光
〒 [illegible]
TEL 0883-66-5292

梅雨どきは、気持的に、静かになりながらですが、雨が少なくなると飲料水に困るという話や農作物や庭の花壇を心配する事が多くなってきます。

人は、まちに勝手な生き物ですね。

七日の夜を願くとテイテイぜみやヒグラシの鳴き声が聞こえてくるようになりました。いよいよ夏本番です。

暑い暑いという日が続きます。

今年は、今日は参議院選挙があり、政治好きにとっては、熱い七月になります。

その上、三好市は、任期半ばで市長が辞意を表明したより一層の熱さとなりそうです。

病院経営も理由づけ辞任だと憶測ご表明したまつですが、インターネットには、他に不正があるということなどにまでめている様です。

田舎という地域は、人とのつながりは、大変強く、なかなか変わり様がないように見えますが、「今日ではなく、明日という日が良くなる様にはどうすればを考えたり、他人まかせ、政治家まかせの地域作りから、自分たちで出来る事は、自分達で働くを基本にすれば、いいんじゃないかえ。」と、月はじめにおもいます。

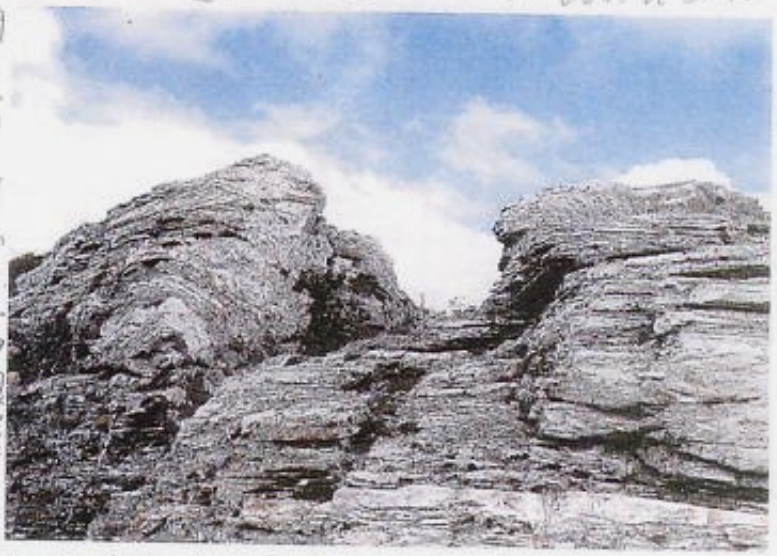
そうそう、ジャガ芋の収穫の時です。孫が遊みにも来ます。なかなか大変です。自然大好きっ子でも、余り歓迎できないです。

人は変わるものと知っていても、身近にいる人が変わるとなんで！とかおってしまいますが、自然だって変化しています。

と書けば、当然じゃないかとの声が聞こえてきますが、その変化を実感しうる人はそんなに多くないでしょう。

祖谷には、ホタルをほとんど見なくなりました。田が荒れた頃は、よく見たけど、今は、他の地域へ見に行くことになります。

田び隊に、トンボも少なくなってるとおもいます。



そこで、一度の休みの子どもをとかげとかいる所に連れていくことも必要ではないでしょうか。

おじいさんの友人は、孫になると普通にゲットできるのですが、今では、一匹みつかるかどうかです。

左上の写真の花を見た事ありますか。私は、はじめてみました。というより花ではなく、赤いソーセージの様な実がなっている時は、何回か見た事はあるのですが…。

この花は、ツチアケビという名前です。

葉を緑の色べつと出合いました。それも二ヶ所で。なんか嬉しくなりました。

こんな変化は、あれば、その一日がなんか得した気分です。

得したというより、続しいことも、あります。

数年前、祖谷から出て行った当時二十歳の娘が帰ってくれました。

家はあるので、いつか帰ってくるとはおもっていても、「どうぞう」ということも、あったりしました。が、やっぱり本当に帰って来ると、また、へこめりの創作ラーメン等だ作りや作物を作るそうです。

あの前向きの生き方に元気をもらいます。

また、ニュージランドのアニーさんも、たった三日間ですが、祖谷に、また帰ってきました。

「ういおり」で仕事、茶刈りや山歩き、川遊びをしたんで知人も多くいて、必ず二年に一回は来てくれます。

という様に、出合いや別れ、変化を実感しながら、自分は、面時は晴、どちらでも気は変わらず、雨も暑い日は、涼う下する本を読んでます。

選挙には行きます。